

ジブチ月例報告 (2023年1月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 1月8日、社会問題・国民連帯省は国家連帯週間 (Semaine nationale de la solidarité) の開始式を開催し、アブドゥルカデル首相を始め、ウルファ社会問題・国民連帯大臣、ラドワン通信大臣らが出席。同式典では貧困家庭への支援強化のためのプロジェクトについて紹介。
- 1月8日、ウルファ社会問題・国民連帯大臣は国家連帯週間の開始にあたり、サイード・ジブチ市長を始め、ジブチ市行政区長との協議を実施。
- 1月8日、カシーム地方分権担当大臣は地方分権関連プロジェクトの進捗を確認するためオボック地方を訪問。
- 1月16日、国家通信委員会は新聞社及び放送局の責任者との間で協議会を開催し、国民議会選挙における選挙キャンペーンの公平性の確保について協議。
- 1月22日、ゲレ大統領はアリ国家人権委員会委員長の表敬を受け、同委員会が策定した人権施策にかかるアクションプランを受領。同委員長は、ジブチ国内全域での人権施策推進に向けた支援について陳情。
- 1月26日の立候補受付期日までにUMP (与党連合)、UDJ (野党)、AMAD (野党) 及びCDU (野党) の複数の政党が内務省に国民議会選挙の立候補者名簿を提出。1月31日、サイード内務大臣は、国民議会選挙の立候補者名簿の審査結果に関して、立候補要件を満たした政党はUMP及びUDJの2政党と発表。

【外政】

- 1月4日、ユスフ外務・国際協力大臣はシェイク・サレム・クウェート外務大臣と電話会談を実施し、同外務大臣の就任に対する祝意を表明。また、両大臣は複数の分野における二国間協力の強化について協議。
- 1月9日、モハメド・ジブチ国連代大使は核兵器禁止条約に署名。ジブチは今後、批准国となるための国内手続きを開始。
- 1月10日、ゲレ大統領は1月8日にセネガルで発生した死者40名に及ぶ交通事故を受けて、サル・セネガル大統領に対して弔電を發出。
- 1月12日～13日、イリヤス経済・財政大臣はインド政府主催の新興国や途上国といったグローバル・サウスの首脳らを招待したオンライン形式会合に出席。
- 1月11日～15日、ヒボ青年・文化大臣はモロッコを訪問。ペンサイード青年・文化・通信大臣と文化分野における二国間協力の強化について協議。
- 1月17日、オマール労働大臣は新たに着任したRachid Bin Shafeea Al-Mani 駐ジ

ブチ・カタール大使の表敬を受け、雇用と労働に関する二国間協力について協議。

● 1月22日、ジブチ外務・国際協力省は在スウェーデン・トルコ大使館前で過激派によってコーランが燃されたことをスウェーデン当局が許したことに對して非難声明を發表。

● 1月23日、新たに着任したトルコ大使、ポルトガル大使、マルタ大使、ノルウェー大使、ニュージーランド大使、オーストリア大使、コソボ大使は、信任状をゲレ大統領に捧呈。

● 1月25日、バードン法務・刑務大臣はモグル・トルコ法務副大臣をトップとするトルコ代表団の表敬を受け、裁判官に対する研修や司法行政に関する知見の共有といった司法協力の強化について協議。

● 1月25日及び26日、ウルファ社会問題・国民連帯大臣はドーハで開催されたアラブ諸国社会問題担当閣僚級会合に出席。同会合では社会的弱者や貧困に対する取組について協議。

● 1月26日、ユスフ外務・国際協力大臣はウェーバーEUアフリカの角特使の表敬を受け、アフリカの角情勢について協議。

【経済・開発】

● 1月9日、ゲレ大統領はジブチと中国企業の香港航天科技集団との間のオボック州北部での人工衛星打ち上げプロジェクトの予備合意にかかる式典を開催。同プロジェクト期間は2023年～2027年で、事業費は約10億米ドル。

● 1月6日～9日、ジブチ政府観光局はパリで開催された第24回国際スキューバダイビング展示会に参加し、スキューバダイビングの目的地としてのジブチの観光資源をアピール。

● 1月9日～12日、イリヤス経済・財政大臣、モハメド商業・観光大臣及びサフィア投資・民間部門開発担当長官はトルコで開催された海外からの直接投資誘致に関する会合に出席。

● 1月13日、ヨニス・エネルギー大臣は第13回国際再生エネルギー機関（IRENA）総会に出席。同総会のマージンで、チルチル・ケニア・エネルギー大臣、フランチェスコIRENA事務局長、フセインAMEA POWER・CEOと会談。AMEA POWER・CEOとの会談ではグラン・バラ太陽光発電の進捗について協議。

● 1月20日、国連開発計画（UNDP）は地球環境ファシリティ（GEF）からの資金協力によって調達した電動ポンプ17台、導水用・散水用パイプ等の農業機械をDafeinatou農業協同組合に供与。

● 1月24日、ユナイテッド・アラブ銀行（UAB）はジブチ中央銀行との共催で銀行システムを通じたテロ資金及び国際的なマネーロンダリングの特定と撲滅に関するセミナーを開催。

- 1月29日、タベス駐ジブチEU大使はヨニス・エネルギー大臣を表敬し、小規模太陽光発電所の設置による地方部の電化について協議。
- 1月29日、労働省はリール地方行政学院と共同で実施される行政官向け研修プログラムの開始式を実施。同プログラムは8か月間にわたって、25名の行政官幹部に対して行われるもの。
- 1月31日、環境・持続的開発省はUNDPと共同で実施されるジブチにおけるクリーン・エネルギーへのアクセス支援に関するプロジェクトの開始式を実施。同プロジェクトはGEFから300万米ドルの財政支援によるもの。

【保健・衛生・社会】

- 1月8日、ヒボ青年・文化大臣はダメルジョグ地域開発センターで1月～3月までの3か月にわたって開催されているジブチの若者約30名に対する車両運転訓練コースを視察。同コースは、若者の包摂的経済促進戦略の一環で実施。
- 1月17日、アフメッド保健大臣はマラリア媒介蚊の駆除プロジェクトに関する会合に出席。同会合内でジブチ政府と英国バイオテクノロジー企業オキシテック社との協力によるマラリア媒介蚊駆除プロジェクトの開始式が開催。
- 1月21～23日、国家社会保障基金は、仏企業 Sanofi 社との共催で糖尿病や心疾患といった非感染性疾患に対する診断・管理の改善を目的とするフォーラムを実施。

【軍事・治安】

- 1月4日、国家憲兵隊は国家憲兵隊創設46周年セレモニーを実施し、アブドゥルカデル首相を始め、ブルハン国防大臣、ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長、各国外交団代表らが出席。
- 1月3日～7日、仏海軍の空母シャルル・ド・ゴールが補給のためにジブチに寄港。
- 1月9日、国家憲兵隊は国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッションに180名の隊員を派遣。

【日本関係】

- 1月8日～9日、清水アフリカの角担当大使がジブチを訪問し、ユスフ外務・国際協力大臣、ウォックナーIGAD事務局長等と意見交換。
- 1月20日、在ジブチ日本大使館は自衛隊及びフクザワ中学校と共同でスポーツイベントを開催。同イベントで使用されたボールは南相馬市から寄贈し、自衛隊が輸送を担当したもの。

(了)